

単元	指導内容	評価規準
<p>ガイダンス</p> <p>「点描制作」 練習と理解 陰影</p> <p>本制作</p> <p>「ジャポニズム と印象派」</p> <p>「美術館レポ ート」</p>	<p>年間の説明を聞き、計画を立てる。</p> <p>① ペンで点を打ちグラデーションを作る。密度と色の濃さの関係を理解する。</p> <p>② 光と影を意識しながら点で形を表現する。</p> <p>③ 点描に相応しいモチーフを選び、情景を考えながらデザインする</p> <p>④ 鑑賞・振り返り</p> <p>① 点描油彩を中心に印象派と後期印象派鑑賞し、理解を深める。</p> <p>① 美術館での注意点やルールを学び、美術館の役割と仕事を知る。</p> <p>② 人に伝わる説明と実感の伝わる工夫、構想をまとめる方法を知る。</p> <p>③ 本制作は夏休みの課題</p>	<p>(態度) 説明を聞き、授業を聞く姿勢がとれている。</p> <p>(思・表) 作品と時間を考えて計画を立てて自分の能力に見合ったデザインを考える。</p> <p>(態度) 積極的に制作している。準備片づけが適切にできる。</p> <p>(知・技) 均一な点で美しい作品に仕上がっている。光の方向を考え陰影を表現できる。</p> <p>(思・表) 点描に相応しい情感あるモチーフを選び、バランスよく構成できる。</p> <p>(態度) 自他の作品の良さを感じとろうとしている。</p> <p>(態度) 作品の背景にある歴史と作者の意図を感じ取ろうとしている。</p> <p>(思・表) 見た人に伝わるような文章で美術館を紹介している。読みやすい構成を考えている。</p> <p>(態度) 充実した内容で考えを表現しようとしている。</p>
<p>「伝統文様」 ゴム版画</p> <p>「木彫ペン立て」 デザイン</p> <p>スクラッチボ ード</p>	<p>① 伝統文様について知り、連続文様を中心に成り立ちと特徴を学ぶ。</p> <p>② 自分らしい文様を考え、パターンになることを想定した版画のデザインにする。</p> <p>③ ゴム版に彫刻刀で模様を彫り、紙に版を刷り完成させる。</p> <p>④ 振り返り。作品鑑賞。</p> <p>① スクラッチ面と木材面でできたペン立てのデザインを素材の違いを意識して考える</p> <p>② ハッチングとニードルの知識を学び、スクラッチボードを削る</p> <p>③ 着色し、スクラッチボードを完成させる。</p>	<p>(態度) デザインに関心を持って取り組み、最後まで完成させることができる。</p> <p>(思・表) 伝統文様の知識を生かし、パターンデザインを考えることができる。</p> <p>(知・技) 彫刻刀など用具の使い方を理解し、形を工夫して仕上げることができる。</p> <p>(態度) 自他の作品の良さを感じとろうとしている。</p> <p>(態度) 素材の違いに関心を持ち、積極的に制作している。準備片付けができる。</p> <p>(思・表) 素材を生かした自分なりのデザインを考えることができる</p> <p>(知・技) 用具の正しい使い方を理解し形を美しく仕上げることができる。</p> <p>(態度) 自他の作品の良さを感じとろうとしている。</p>
<p>「ペン立て木彫」 木彫</p>	<p>④ 彫刻刀についての学習し、デザインの通りに木彫を施す。</p> <p>⑤ 木彫部分にニスを塗り、スクラッチボードと合わせて、組み立てて仕上げる。</p>	<p>(態度) 素材の違いに関心を持ち、積極的に制作している。準備片付けができる。</p> <p>(思・表) 素材を生かした自分なりのデザインを考えることができる</p> <p>(知・技) 用具の正しい使い方を理解し形を美しく仕上げることができる。</p> <p>(態度) 自他の作品の良さを感じとろうとしている。</p>

参考図書

「教科書、2・3年、上・下」

副教材「美術資料 東京の美術」他